

プレスリリース

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所

全球版波と風の統計データベース（GLOBUS）詳細版をリリース
— 高詳細な全球の気象海象の長期統計データが利用可能 —

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所（所長 宇都正太郎、東京都三鷹市）は、全球の波と風のデータベース（GLOBUS：グローバス）の詳細版をリリースしました。

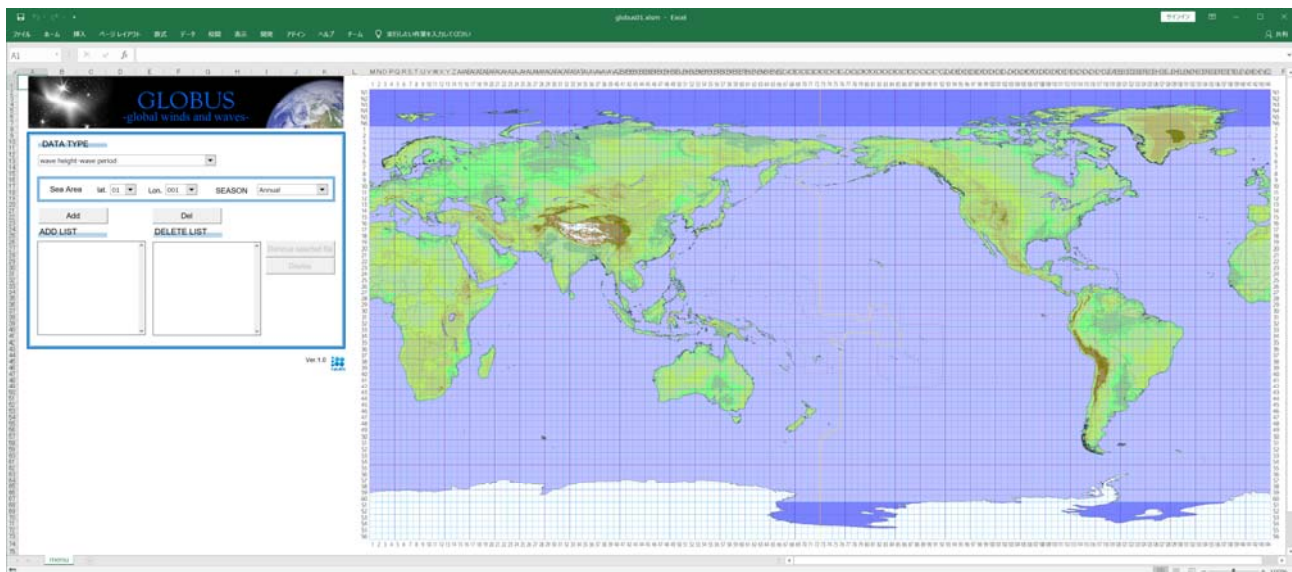
GLOBUS は気象庁の波浪推算データを用い、波と風の発現頻度を表示するものです。本年 3 月 28 日にホームページ版（10 度格子間隔：720 海域）を公開しましたが、今回はより高詳細なデータベースを構築し（2.5 度格子間隔：10,368 海域）、Excel で動作するようにしましたものです。

これにより、一層高度な全球域での波と風の長期統計を利用することが可能となり、船舶・海洋構造物の設計や運航、稼働率、リスク評価への活用が期待されます。

全球の波と風のデータベース（GLOBUS）は、2006 年から 10 年間の気象庁の波浪推算データ（0 時間先予測値）を海上技術安全研究所で統計解析し、緯度経度 2.5 度間隔の海域で気象要素の発現頻度として作成したものです。気象要素（風速、風向、波高、波周期、波向）の各 2 要素の発現頻度の他、波高一波周期－波向、波高一波周期－風速の 3 相関表が Microsoft 社 Excel 上で利用できます。

申し込みは下記 HP アドレスよりお願いします。

URL：https://www.nmri.go.jp/study/Intellectual/globus/info_detailed.html



GLUBUS 詳細版 トップページ

<問い合わせ先> 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所
海上技術安全研究所 企画部広報係
住所：東京都三鷹市新川 6-38-1
電話：0422-41-3005